

マーケットの動き（2026年6月22日～6月26日）

先週の国内株式市場は、前週末比で下落しました。日経平均は22日および25日に最高値を更新する場面がみられたものの、これまでの急ピッチな上昇による過熱感が意識され、利益確定目的の売りが優勢となりました。加えて、米国株式市場におけるハイテク株の軟調な推移を受けて投資家心理が悪化し、これまで上昇を牽引してきたAI・半導体関連銘柄を中心に売りが広がりました。

投資環境見通し（2026年6月）

国内株式相場は底堅く推移

企業業績については、全体として増益基調を維持するとみられますが、成長率については総じて緩やかとみています。中東からの原油依存度が高い経済構造から原油価格高止まりの長期化が懸念されますが、高水準の半導体需要に加えて、上昇する原材料費の製品価格への転嫁によって企業業績は概ね好調とみられる中、季節的な自社株買いも支援材料となり、国内株式相場は底堅く推移するとみています。

	6月26日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
TOPIX（東証株価指数）	3,963.36	▲2.02%	0.63%	15.78%	41.31%
日経平均株価	69,360.88	▲2.65%	6.72%	36.67%	75.22%

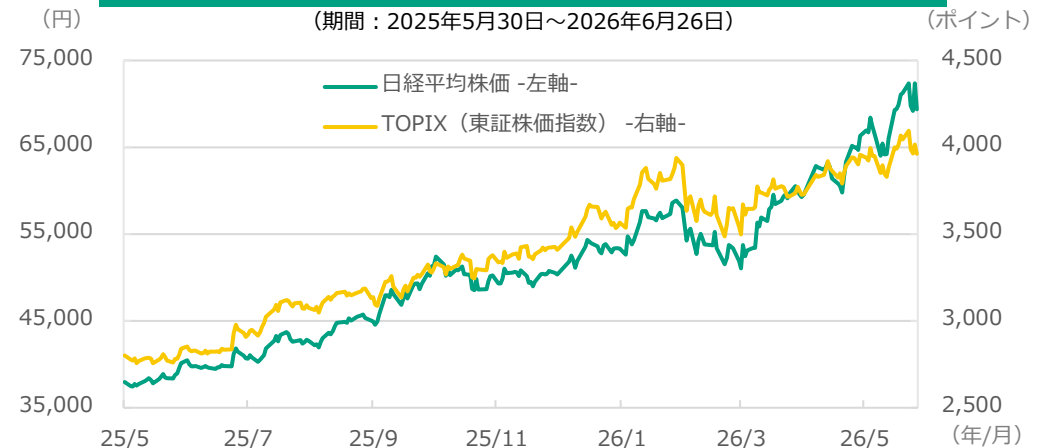
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

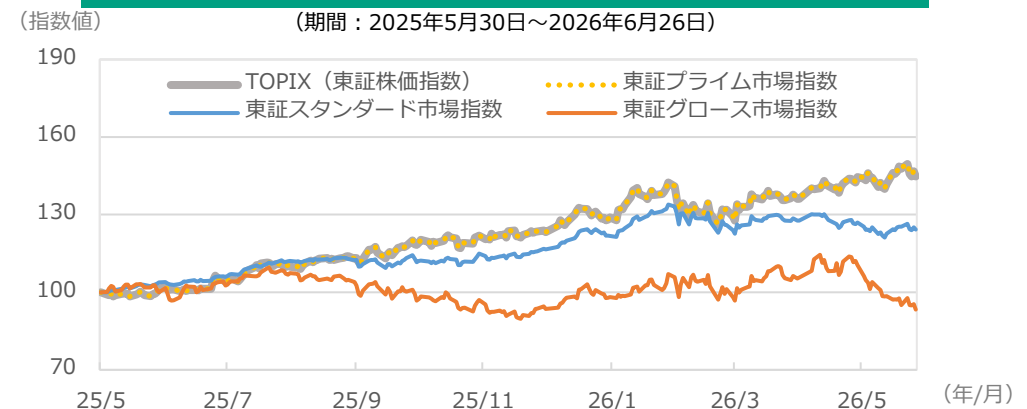
https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202606_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客様の投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客様自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

日経平均株価、TOPIXの推移



東証市場別指数の推移



※2025年5月30日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成